

ホーム名：くみのき苑グループホーム千寿					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・「認知症になっても、一人ひとりが地域の中で当たり前暮らしながら、人間の尊厳を大切に生きていく」を理念に掲げている。入居者様に「自分らしく生きてもらおう。自分を好きになってもらう。」事を目標に、職員同士話し合いケアに繋げていく様に努めている。	運営法人の経営理念に基づき、事業所として地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を設定している。理念の実践は、管理者を中心に職員全員で日々のサービス提供場面を振り返り、理念がケアに反映されているのか確認されている。	立場や経験に関わらず、パート職員も含め事業所で働く職員一人ひとりが、事業所の理念を理解し、日々利用者に関わる際に、理念を具体化していくことを大切に意識して頂きたい。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	・自治会に入り、地域行事に積極的に参加させて貰っている。入居者様が参加できる行事の場合は、入居者様と一緒に参加している。また、近隣のスーパーに買い物に行く機会を作る様にしている。	地域との交流を事業所が必要な時にだけ行うのではなく、地域に暮らす地域住民の一人として職員は地域で必要とされる活動にも積極的に参加し、地域貢献にも寄与されている。	今後も継続して事業所が地域から孤立することなく、近所づきあいや地域の活動、地域住民との交流に積極的に取り組んでいられることに期待をしたい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・河内長野市のキャラバンメイトとして、河内長野市の認知症への理解を広げる活動にも参加している。今年度はいきいきフェスタやRUN伴、認知症ソフトボール大会の参加等入居者様と一緒にいった。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・会議で出た意見は、会議後、各階の常勤と相談したり、法人本部の上司などとも相談し検討させて貰っている。要望で出来ない場合は、個人的に意見下さった方へ、返答の報告を入れている。	利用者家族との食事会と同じ日に開催し、会議にも多数の家族の方が出席され、事業所からの状況報告とともに家族からも質問、意見、要望等があり、双方向的な会議が行われている。	開催は年3回のため、次の開催まで時間が空くので、会議議事録は、状況報告議事以外に決定事項、質疑応答、宿題等に整理し、次の会議で前回の議事録の確認をされてはどうか。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる。	・何か事業所で分からない事や困った事は、すぐに市役所に連絡している。市役所の方も、すぐに調べて返答を下さる。	事業所の状況は、市担当者に運営推進会議に出席して頂き、共有できている。又、市内のグループホームが集まる部会を通じて、1事業所だけでは解決できない問題や課題についても市との共有化をされている。	現場での課題や問題は、市の理解や支援が必要なことも多いので、市に現場の状況をしっかりと受け止めていただくため、市職員に研修場所として事業所を活用してもらおう等検討されてはどうか。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	会議にて取り上げ、身体拘束しないケアに取り組んでいる。ホーム内ではエレベーターで自由に行き来出来る。入居者の安全を図る為に無線センサーを使用（個人購入・2名利用）、布団に鈴を付ける（8名）をし、身体拘束の無い支援を行っている。	身体の物理的拘束以外に、スピーチロック（言葉の拘束）やドラッグロックによる薬物の過剰投与や不適切な投与での行動の抑制も身体拘束につながると考えて禁止されている。	研修等を通じて、パート職員も含めた事業所で働く職員一人ひとりが、常に新しい知識や情報を取り込み、活用していく姿勢を持つことを大切に頂きたい。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・全国の事件、事故に関しては、上司より掲示あり。回覧にて職員全員必ず目を通す。身体だけでなく言葉による虐待についても「何かおかしい」と思った時は、常に声掛けを行い注意し防止に努める。		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>・権利擁護に関する資料があり職員がいつでも閲覧が出来る様になっており周知を行っている。成年後見制度に関しては、入居者様に利用されている方もおられる為、制度についての理解を行っている。会社も研修を行なっている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・今まであった家族様からの疑問や不安を聞いた事を踏まえて、説明する様に努めている。ただし、細かく説明し過ぎて、逆に家族様に伝える量が多く、理解しにくくさせている事もあるのではと思う。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・各階意見箱を設置している。利用者・家族様からの意見や要望を全員で周知出来る様に、各階の常勤に伝え、どうしていくか話し合い取り組む様に努めている。</p>	<p>家族には訪問時、家族会等で常に声がけを行い、何でも言ってもらえるような雰囲気づくりを行い、出された意見、要望等は会議等で話し合い、運営に反映できるものは反映させている。</p>	<p>家族からの意見や要望等は、ノート等に記録されているかと思われませんが、スマホやタブレット等の音声記録アプリ等を活用し、音声文字変換によるデータ記録とすれば、職員間で、迅速に共有化もされるので、検討されてはどうか。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>・半年に1回人事評価面接実施している。その際に、評価以外に職員の話聴く時間を持っている。また、職員の様子が違う時や周りの職員からの情報を聞いた際は、個人的に、話を持つ様にしている。</p>	<p>管理者は、各職員と目標管理制度に基づく評価面談を行い、運営や管理について職員の声に耳を傾け、運営に活かし、職員の働く意欲の向上につながるよう努めている。</p>	<p>変化する利用者、家族の状況や個別の要望に沿って必要支援を柔軟に提供するためには、現場職員からの意見や情報が大事となるので、これからも現場職員とともに作る運営に期待したい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>・人事評価面接時にひとりひとりの評価を行い、賞与に反映させている。職員と話した際に出た意見を基に、業務改善を行うなど職場環境を整えるように努めている。</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・法人本部で定期的に研修を開催しているが、職員数が少ない時などがあり、毎回参加するのは難しい現状がある。その為、月1回勉強会を実施。研修に参加した職員が他職員に研修内容を伝える機会や、外部講師を招き勉強する機会を設けている。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>・グループホーム部会を通じて、他事業所との職員の交換研修や、勉強会を行い、交流や意見交換の場を作っている。</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・入所前に本人様に見学に来て頂く機会を作っている。一人一人ゆっくりと関わり不安を軽減し、又、その中から本人様の情報を集め困っている事や不安に対する関わりを考え安心を確保出来る様に努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前の施設見学や入所されてからも、本人様や家族様が困っておられる事や心配事、ご希望等をお伺いし、お互いに話し合いの場を作るように努めている。又、入所されてからは家族様には本人様の様子を定期的に電話にてお話させて頂いている。</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様やご家族様の面会時などに情報を集め、個人別センター方式に記入しまとめている。職員は情報共有し、今後の対応に活かせるように努めている。</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者様の所持能力を理解し、本人様にとって何が最善となるかを考える。又、職員からの一方的な介護、援助にならない様に心掛けている。しかし、本人様の立場に置かず、職員が一方的になっている事も有り。現場や会議にて話し、入居者様の為の援助が出来る様指導している。</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人様やご家族様の気持ちを大切に、職員は想いを汲み取り対応出来る様努めている。面会時には日常の様子や状況を報告すると共に居室にて水入らずの時間を過ごして頂き、安心して頂いている。又、家族会や遠足や食事会等一緒に過ごせる機会を作っている。</p>		
20	<p>8</p> <p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人様やご家族様より情報収集し、手紙や年賀状等で疎遠にならないよう支援している。</p>	<p>知人、友人や馴染みのお店、行きつけの場所等と本人がつきあいを継続できるよう会いに来てもらったり、外出を積極的に行う等心がけている。</p>	<p>入居するとこれまでの関係性がややもすると途切れがちとなるので、職員を通じて知人、友人のことや馴染みお店、行きつけの場所等について話し、出かけていく場面を積極的につくって頂きたい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者様同士の関係は理解出来ているが、職員が事前に対応出来ない事でトラブルになる事が有る。職員の対応が事前出来る様努めていきたい。又、一緒に食事の準備やレクリエーションをすることにより関わりや支え合う関係性が出来る様努めている所である。</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された方に、面会やお見舞いを通じて、関係性を大事にしている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めているが、実際に把握できている職員が少なく本当の思いを理解できず対応をしてしまい不安にさせてしまう事がある。	介助が必要な時、本人の気持ちを大切に考えてさりげないケアを心がけたり、言葉かけをするよう管理者を中心に努めている。	本人の思いや意向の把握には、日々の利用者とのケア記録が大切になってくるので、現場職員が感じたことを手軽に記録してもらうようスマホやタブレット等で音声記録アプリを活用されてはどうか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	ご家族様の面会時や本人様から情報をお伺いし、個別のセンター方式に記入している。職員間の情報共有に使用し、日々の関わりに活かして行く様に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様の状況、様子を毎日の日誌に記入し職員間で情報共有している。しかし、観察能力の違いや申し遅れていない部分が有り、情報を確実に伝達出来ていない所がある。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様及びご家族様の意見や希望を伺い、月二回カンファレンスを実施。職員は、その情報を基に会議を行い、話し合いの下介護計画の作成をしている。本人様の状況に応じて見直しを行っている。	本人や家族には日頃からその思いや意見を聞き、ケアプランに反映させるようにしている。又、ケアプランの見直しは、期間や身体状態の変化だけに捉われず、職員間で意見交換やカンファレンス等を通じて見直しされている。	継続して介護サービスや介助項目を羅列したような介護計画ではなく、利用者の視点にたって地域でその人らしく暮らし続けるために必要な支援を盛り込んだ計画をたてていかれることに期待したい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の関わりの中で職員一人ひとりが工夫をし、本人様の対応に当たり、その時の反応等を細かく記録していくようにする。又、そう出来る様に指導をして行く。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスにとられない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	心身の状態の変化等で本人のニーズも変化が出て来る為、その変化にいち早く気付けるようにしていく。変化に気付いていない事や変化に気付いていても柔軟に対応出来ない事も有る。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	自治会の協力もあり、地藏盆祭りや秋祭り等参加させて頂いている。又、施設内での行事や遠足等楽しめる時間を作る様に支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所時かかりつけ医について、ご本人様・ご家族様に説明を行い訪問診療を希望される方へは、青山クリニックをかかりつけ医としている。以外は近隣の病院にて職員付添いの元受診させて頂いている。その際は、必ず家族様に連絡をさせて頂く。	本人馴染みのかかりつけ医による継続的な医療が受けられるよう、又、状況に応じて家族が希望する医療機関による医療も受けられるよう配慮されている。	継続して通院の仕方や受診結果の報告について、本人や家族等の納得を得られるよう十分に話し合いを行いながら、受診支援をしていかれることに期待したい。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>看護師は月～土まで1階デイにて常在している為、入居者様の状態の変化を報告し、相談又は指示を仰ぐようにし、支援している。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院中は家族様又は病院関係者から情報提供して頂き、本人様の様子や状態把握に努め、支援出来る様になっている。</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>終末期のケアについては理解が十分でない職員が多い為、指導をする必要がある。又、ご家族様には面会時や電話を通し、ADLの低下や状態の変化は報告を行う。更に重度化については家族様と話し合いの下で今後について取り組んで行く。</p>	<p>重度化や終末期を向かえた場合は、本人や家族の意向を踏まえ、段階ごとに医療機関とも連携しながら、できるだけ支援が行われている。経験している職員が少ないが、管理者を中心にチームとして対応できるよう取り組んでいる。</p>	<p>今後、重度化や終末期を向かえる利用者も増えてくると思われるので、日頃から本人や家族の意向、本人にとってどうあったら良いのか、事業所が対応できる支援方法を踏まえて、対応方針をチームとして話し合っていることに期待したい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>緊急対策マニュアルを設置し職員全員に周知しているが、職員個人の実践での能力の差は見られる。</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署の方の協力のもと、年2回消防訓練を実施している。訓練時に避難方法を再確認し、消火器訓練を実施している。</p>	<p>年2回、消防署の協力を経て避難訓練、避難経路の確認、消火器の使い方などの訓練が行われている。同じ事業所内にデイサービスもあるため、連携した訓練も実施されている。</p>	<p>災害発生時は、職員だけでは誘導の限界があるため、地域の協力体制を築いておくことが必要となる。日ごろより、地域住民と話し合いを行う等連携を図りながら、地域の災害対策の中でなんらかの役割を担っていかれることに期待したい。</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>職員全員には人格の尊厳やプライバシーについて説明を行っている。しかし現状の対応について配慮が欠けている所も有る。</p>	<p>入居者の人格の尊重やプライバシーを損なわない言葉かけや対応を管理者が中心に努められている。</p>	<p>入居者の性格は職員が忘れる事無く対応され日々楽しく穏やかに過ごされる様努めて戴きたい。</p> <p>職員がどの様に考え行動したかを手軽に記録して貰えるようスマホやタブレットなどで音声記録アプリを活用されてはどうか。</p>
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人様が自分の意志で決定出来る様に対応をおこなえる様努めているが、職員の都合で対応してしまっている事が多い。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>業務を優先するのではなく、入居者様を優先する様に心がけている。しかし現状では、職員が都合を優先してしまっている事が多く、本人様のペースに合わせられていない事が多く見られる。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>毎日の整容や更衣時にその方に合った身だしなみを支援させて頂くが、出来ている職員と出来ない職員の差が大きい。</p>		
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備で入居者様同士の交流が関係を持てるようにはしているが、声を掛ける方が固定されてきており、毎回同じ方にしか声をかけられていない事が多い。</p>	<p>食事が楽しみと成る様、盛り付けや配膳などができる利用者の方々の能力を生かし少しでも楽しく過ごして居ただける様、嚥下体操しながら取り組まれている。</p>	<p>雛祭りや誕生日などのイベント的な食事については、これからも利用者の楽しみとなるよう、少しでも変化を付けて取り組まされたい。</p>
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている</p>	<p>水分にトロミやミキサー食等一人ひとりに合わせた取る様に支援する。又食事量や水分量は必ず時間と共に記録に記入し、把握している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後口腔ケアの誘導、声掛けを行い支援に努めている。又、毎週水曜日に訪問歯科があり、口腔ケア、治療等の相談をし、清潔保持援助に努める。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>入居者様一人ひとりにあつた排泄時間や排泄の方法を把握し、その上でトイレへの声掛けや案内を支援できるように努める。</p>	<p>入居時はオムツだった利用者もトイレでの排尿排泄の自律に向けた支援を通じて紙パンツに替わって来ている。</p>	<p>居室ごとにトイレが有るが、朝は排尿、排泄の失敗をする方が居るので夜間冷えると思われたらズボンはうすい色の物を薦める事を心掛けて欲しい。(ハイターを使うので)</p>
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>排便がない日が続いた時に対応が決まっている方については予防や対策が出来ているが、その他の方については食事の工夫など出来ていない現状がある。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入居者様の体調や状態に合わせて、入浴間隔の開いた方を優先に声を掛けさせて頂いている。入居者様の希望があれば出来る限り優先する様に努めている。</p>	<p>服を脱ぐのを嫌がり、入らないと言う利用者も多いが、前回入浴より日数の経っている方から声掛けし、希望の時間帯も聞き入浴して貰っておられる。</p>	<p>入浴を楽しみだと言って貰えるよう本人の体調に合わせて入浴できるように、また、毎回湯を入れ替え洗浄され今後も衛生に気を配られたい。</p>

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>入居者様個々の状態に合わせて対応を行うように努めているが、眠れない方が何故そうになっているかの理解が出来ておらず、その方が求めている対応が出来ていない事が多く見られる。</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>入居者様個人の薬説明書や薬管理袋の中に個人手書き説明書を入れ確認出来る様にしている。しかし、副作用や要領について理解できていない職員もいる。</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの出来る事の把握は出来ているが、職員の都合で役割や楽しみごとの提供が出来ていない事が多い。又、時折職員の押し付けになっている事も有る。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>散髪や買物等本人様の希望があれば、外出できる様に計画を立てている。又、家族様から外出希望される事もあり、外出時の注意点を伝え、安心して外出出来る様に支援している。</p>	<p>利用者がその日の希望に添って戸外に出掛けられる、家族様との外出も注意点を伝え安心して外出出来る支援に努めている。</p>	<p>これからのシーズンお花見やお祭りの外出支援に地域との掛かりも充実され、和気あいな関係に成られることを望みます。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>入居時にご家族様、本人様へ説明させて頂き、金銭の所持は自己管理でのご理解を頂いている。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご家族様の希望を聞き、電話や手紙のやり取りが可能な方に対して、本人様の希望通りに実施できるよう努めている。</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居者様が快適に過ごして頂けるように、空調や湿度をその都度調整をさせて頂く。又、季節ごとにあった飾りつけや季節にあった花を飾らせて頂く事で入居者様に季節を感じて頂く様にしている。</p>	<p>共用の空間作りは居心地の良い季節感を取入れ、安全安心感を抱ける様な工夫をされている。</p>	<p>舞台の様な和室は階段が有り其をフローリングにするには費用が掛かり、今は備品入れて整理整頓され又考えられます様に。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>入居者様個々に席が有る事とソファや席以外の椅子がある為、どちらでも好きにゆっくりと過ごせるようにしている。</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様にとって馴染の家具や雑貨等をご家族様と相談し、持参して頂ける物があれば居室において頂ける様にしている。</p>	<p>本人や家族と相談しながら使い慣れた椅子や整理ダンスを置かれて居る。定期的に布団干しやシーツ替えなど衛生面にも気を配られて居る。</p>	<p>洋室と和室が有り、和室は本当に家に居るような、居心地のいい部屋作りをされており、今後も居心地の良い部屋に成る様、支援されたい。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>職員が安全な環境に囚われ、入居者様に危険がない様に出来る事までしてしまっている事がある。入居者様にしてもらえる事は頂き、職員は入居者様が安全な様に見守りを行う支援をするように指導をする。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者として ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/>	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は活き活きと働いている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない